

# 油水分離槽設置工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> </ul>
試 掘	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工箇所に埋設ケーブルが有るか、無いか、図面にて確認し有る場合は、施工前に試掘を行う。この時、関係部署の立ち会いを受けること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係部署の立ち会いを受ける。</li> </ul>
掘 削	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレーラーで搬入した重機を卸し、重機にて施工箇所の掘削を行う。ガードレール等を取り外し、重機を搬入し掘削する。掘削後は、スコップ、ジョレンを使い床均しを行う。また掘削後の土は、ダンプにて所定の場所へ搬出する。この時、車輛誘導を確実に進行。また掘削した後の掘削床は、プレートコンパクターを使用し転圧を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による機械作業を行う。</li> <li>重機、ダンプの誘導を確実に進行。</li> <li>ダンプへの過積載、飛散防止に十分注意をする。</li> </ul>
水槽設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>施行箇所の掘削が終了したら、碎石(t=150mm)を敷き均し、ベースコンクリート(t=100mm)を打設します。コンクリート養生後クレーンを使用し水槽を水平に設置する。</li> <li>水槽を設置したら、ある程度まで埋め戻しし、既設排水溝等との接続を行う。</li> <li>接続(目地)完了後、既設地盤まで埋め戻し整地を行う。</li> <li>最後にモルタルにてインパット(t=50mm)を打設する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミキサー車等の誘導を確実に進行。</li> <li>コンクリートは、工場出荷時間より1.5時間以上経過した物は、使用してはならない。</li> <li>バイブレーターでの生コンの移動、流しは、行わない。</li> <li>クレーン等の設置は、平坦な場所に必ず敷き板を使用しアウトリガーをなるべく一杯まで張り出す。</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>はつりかす、コンクリートかす等が無い様に、綺麗に清掃する。</li> </ul>

作業編成(標準)	機材	資材	安全器具・保護具	
			ヘルメット	
			反射(自発光)チョッキ	
			警笛	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.機械作業は、有資格者が必ず行う。
- 2.車輛の誘導を確実に進行。
- 3.作業に合った保護具を使用する。
- 4.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 5.一人作業の禁止